

日常生活のエネルギーを充電する手段。 それがフラなんです。

自然や愛を身体で表現する
本場ハワイでフラを見てとりこに

たゆみなく寄せる波、美しい花、頬をなでる微風、そして、この南の島に古くから伝わる伝説の数々。ハワイの大自然や伝説を歌った歌詞を全身で表現する、それがフラだ。

満ちた本場に美しい表情をします。フラは私たちが忙しい日常から解放し、心も姿も美しくしてくれるんです」

現在、松戸市常盤平にある教室で100名以上の生徒にフラの心と技術を教えている池田さん。仕事で訪れたハワイでその踊りの美しさに魅了され、趣味ではじめてのがフラとの出会いだった。「それからハワイに通い詰めて、本場でフラを教わりました。でも、自分で教えるこ

とになるなんて、まったく考えていなかったんですよ」

結婚し、子どもが生まれたのを機に、仕事を辞めて家庭に入った。日本でフラの教室に通い続けたものの、ごく普通の主婦として過ごしていた。

そんな池田さんのところにある話が舞い込んできた。目が見えない人にフラを教えるかもしれないかというのだ。教える自信はなかった。だが、やってみたいという気持ち



ポーマイ池田フラスタジオ主宰

池田悦子さん

外資系航空会社のフライトアテンダント時代にハワイでフラに出会い魅了される。以来、何度もハワイを訪れ、本場でフラを習う。日本でボランティアでフラを教えたことをきっかけに生徒が集まり自分の教室を持つことに。2002年より松戸市常盤平にスタジオを開設し、現在は約100名の生徒を教えている。また、ハワイアンライブの出演、東京ディズニーランドイクスピアリの屋外ステージでのパフォーマンス、森のホール21での発表会なども行っている。

ちのほうが大きかった。友人と二人で先生のボランティアを始めた。しかし、踊ることと教えることは同じではなかった。

「視覚的に覚えていたフラを、言葉だけで伝えなければならなくなって、最初は非常に戸惑い、悩みました。『これくらいまで手を上げて』と実際に手を取って高さを教えても、次週の練習では忘れていた。どうすれば覚えてもらえるのか、試行錯誤の連続でした」

そうして、ある結論にたどり着いた。「つり革を持つ感じで手を上げて」「小学生が自信を持って『ハイ』って言うときのようように手を上げて」。具体的なイメージで伝えるのだ。この方法で生徒たちはどんどん上達していった。

**何のためにフラを踊るのか？
それは自分を愛し、
生きる力を蓄えるため**

次に、「地域の小学校で卒業式の謝恩会でお母さんたちがフラを踊りたいと言っている。教えてもらえないか」と知人から相談を受けたときは、すんなりと引き受ける気になった。

「教えることに自信が出てきていたんでしょうね。みなさん短期間で何曲もマスターしてくれました」

謝恩会が終わってもフラを続けたいという人が大勢いて、教室を開いてほしいと頼まれた。教室となると生半可な気持ちではできない。実際に決心がつくまでに半年かかった。

そして、いざ自分の教室を持つてみると、どんどん夢が広がっていった。生徒を育て

CiaO お楽しみ読者プレゼント

●応募方法
ハ

応募
レ
ン
か
「新
京
成
一
マ
」

応募
レ
ン
方

〒273-0192
鎌ヶ谷市くぬぎ山 4-1-12
新京成電鉄 CiaO 編集係

A ポーマイ池田フラスタジオから
オリジナルTシャツ 5名様

B インド料理「タージマハル」から
お食事券(1,000円相当) 10名様

C 紅茶舗「サウザンドリーフ」から
紅茶セット引換券
(2,000円相当) 3名様

D フランス菓子「マリエ」から
オリジナル焼菓子ギフトセット引換券
(1,000円相当) 3名様

E 「カフェ・ル・グレ」から
きび糖プリン引換券 5名様

F 「カフェ・エラブル」から
CiaO No.68 持参の方
会計時に10%割引

※但し、ランチタイム(11:00~15:00)を除く時間帯ご利用の方

G 「新京成鉄道模型館」から
オリジナルストラップ 5名様

読者のページ

新京成で行く野球観戦に夢中です

■8歳の長男は、線路を走る電車の音だけで車型を当てるほどの新京成電車マニアです。車両の特徴も、大人には全くわからない細かいところまでよく知っています。昨年からは野球にも興味を持ち、千葉ロッテマリーンズの試合を「北初富」京成津田沼「京成幕張本郷」京成バス「スタジアム」というルートで、昨年は10回、今年もすでに10回ほど観戦。来年は新京成線が千葉中央まで乗り入れるということで、家族一同楽しみにしています。

ています。

鎌ヶ谷市 J・Kさん

いつもご利用ありがとうございます。これからも千葉ロッテマリーンズとともにCiaOの応援もよろしく願っています。

駅のバリアフリー化はうれしいこと

■いつも楽しく読んでいます。67号もどの記事もおもしろくて、あやうく電車を乗り過ぎるところでした。ついに京成津田沼駅にエレベーター! エスカレーターが

て大会に出したい。大会で優勝して教室

が有名になればいいな。頭の中はフラのこと

とでいっぱいだった。

そんなとき、当時5歳だった娘さんが発

病した。筋肉に障害を起こす難病だった。

「教室を閉じ、子どもの看病をしながら、私は何のためにフラをやっていたんだろう」と

思いました。フラに熱中しすぎて、家族の

ことを顧みなかった。家の中が病んでいた

ことに気づかなかったのです」

それからは看病に全エネルギーを傾け

た。娘さんの病状が落ち着くまでに1年

半かかった。そして、少しずつフラを教える

ことを再開した時には、以前の自分とは

まったく違っていったという。

「フラは何のためにあるのか、たどりついた

答えは、家族の幸せのためだっただけです」

生徒への接し方も変わっていた。フラの

技術を教えるだけではない。日ごろ、良

き母、良き妻であるために自分を押しさ

がちの女性たちに、スタジオに入ってきた

ときは心を開放し、仲間を信用し、フラ

を通してありのままの自分を表現するこ



ポマイとはハワイ語で「幸せを呼ぶ」という意味。フラを介して多くの人々に幸せを呼び込みたい、そんな気持ちが伝わってくる。

設置されるのですね! 乗客はどんなにこの日を待っていたことか。

松戸市 N・Yさん

●ご愛読ありがとうございます。これからも誰もが利用しやすい新京成をめざしていきたいと思っています。

ためになる「駅ナビ」情報

■実家が高根公園駅が最寄り駅なので、中学生の頃からずっと新京成を利用して、佐倉に引越した今でも船橋に行くとき

とで自分の秘めた力や魅力に気付いてほしいと願った。その思いを言葉と踊りで伝えることが夢であり目標になっていた。

「通いはじめの頃は警戒していた生徒さん

が、どんどん変わっていくんです。クラスに

溶け込み、素直に自分を表現し、美しく

なっていく。週に二度この教室に来て、自分

の生きる力みたいなものを蓄えて実生活に

戻ってほしい。いまは心からそう思っています。

だって自分を好きになれたとき、人は

誰にでも優しくなれるんですから」

saloon

●いつも利用しています。67号の「駅ナビ」は高根公園と高根木戸駅。駅の由来や歴史的記事を読み勉強になりました。「紳士淑女録」のバレンタイン監督の記事は地元野球ファンにはたまりません!

佐倉市 安部健さん

●いつも利用している駅の歴史がわかると愛着も違いますね。バレンタイン監督はサービス精神旺盛な方でした。応援よろしく願っています。

うれしい! 傘貸し出しサービス

■北習志野駅の不動産営業所で傘の無料貸し出しサービスが始まったといううれしい記事。家族や友達にもさっそく教えてあげようと思いました。これからもいろいろな所で貸し出しをしていただけたらいいなと思います。

船橋市 小川明子さん

●これから夕立の季節、急な雨の際にはぜひご利用ください。道がわからないときなどもお気軽にお立ち寄りください。